



H30年

第2回重粒子線医工連携セミナー

日時: H30年9月21日(金)17:00~18:00

場所: 群馬大学 重粒子線医学センター カンファ室

**炭素線治療ビームに対するGafchromic EBT3/EBT-XDの線量
応答について**

講師: 米内 俊祐 先生

放射線医学総合研究所 加速器工学部 チームリーダー



= 概要 =

Radiochromic filmは現像のいらぬ透過型線量確認フィルムとして主に光子線治療において線量分布確認などに用いられている。目視により簡便な線量分布の確認が照射直後に即座に実施でき、また、光学スキャナを用いてフィルムの読み取りデジタルデータへの変換することによって詳細な線量分布解析が可能になる。さらには線量換算係数（読み取り値から線量への換算）を用いることで線量の絶対値の取得も可能である。

実際のQA/QCに使用するためには高い再現性と取り扱いの容易さが必要であり、光子線や陽子線に対するRadiochromic filmの線量応答の実験的評価については多くの研究が発表されている。

本発表では、今年度発表した論文（Yonai et al. Radiat Prot Dosimetry 2018）を基に炭素線治療ビームに対するGafchromic film EBT3, EBT-XDの線量応答に関する研究について紹介する。

群馬大学重粒子線医学研究センター 猪爪 E:mail inoino@gunma-u.ac.jp
〒371-8511 前橋市昭和町3-39-22 ☎027-220-8378

